

景況実感調査(2018年6月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 前月と同様21日稼動となったが売上、数量とも減少となった。対前月比でも数量は単月、クォーターともに減となり、年初の見込みとのギャップは大きい。同業他社も似たような状態と聞いており、苦心している。この様な状況が持続するとは考えておらず、第2クォーターに期待している。与信面でのガードも再チェックが必要と考えられる。
- ② 6月の荷動きは前月横這いと、依然として物静かな状況。市況もメーカーの追加値上げ発表の影響もなく横這い。上期はこの様な横這い状況が続くと思われる。
- ③ もはや秋需に期待するしかない。盆前までは辛抱が続く。収益確保が厳しい状況は変わらない。

中板

- ① 6月の加工量はユーザー向けが全体的に堅調に推移しているものの、店売の荷動きは依然として停滞感が漂い、在庫水準も極端なタイト感が感じられない。自動車向けを中心とした高炉の値上げ状況が、今後どのように進展していくのか、店売市況上昇への好材料となるよう期待するところである。

厚板

- ① 建築、土木、橋梁も安定して受注している。7月以降も物件は更に出て来るものの、メーカー値上げが急ピッチで、価格転嫁が追い付かない。

开形鋼

- ① 6月に入りユーザーからの発注が多くなり、発注のボリュームも大きいものもあり、一年前に想定、計画していた月次での売上、収益状況の姿にやっと近づいた感あり。しかし、なぜ6月に急に需要が喚起されたのかは説明できず、今後の見通しはつきかねる。

II形鋼

- ① 6月の倉出しは若干のプラス。前年同月比もプラス。4～6月としては悪くはない。メーカー値上げの転嫁を実行し、秋口以降の需要期に向けてもう一段の値上げを行う。
- ② メーカーの供給もタイトであり、市況は一段と上昇する可能性が大きい。

異形棒鋼

- ① 新規物件は前月と同様で少ないが、土木向け加工販売が若干回復傾向。市況は横這いで、全体的には荷動き低調。
- ② 店売は3月、4月が悪く、その反動で5月、6月、7月初めと少し荷動きは良くなってきている。価格は横這い。

平鋼

- ① 建築中心に加工が忙しくなっている。それにつられる形で荷動きもやや回復してきたが、価格が上昇するほどの動きはまだない。今後の需要に期待している。
- ② メーカー値上げ分の価格転嫁を進めているが、ユーザー価格が上がっていないため転嫁が難しいとの声が出始めている。メーカー価格が下がることは考えにくいいため、丁寧に説明をして販売価格上昇に努める。

車体量形鋼

- ① 受注にバラツキがある。一部製品については高稼働となっている。
- ② 店売は相変わらず低調であるが、値上げは待ったなしのところまで来てしまっている状態だ。
- ③ 大型工事の動きは右肩上がりになって来ているが、中小規模は低迷を続けており、不安定な受注状況に便の確保が非常に難しい。

鋼管

- ① 荷動きは低位横這いであるが、メーカー値上げを含むコスト上昇分の販価改定は引き続き進める。
- ② 5月に比べて荷動きは回復基調となり、タイトなサイズも出ている。市況は強含みで、来月から積み残し分の転嫁を予定。
- ③ 6月単月の売上数量はやや減少したが、7月以降、年内の受注量、加工量は増加が続く。

構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連・建設機械関連などの大口紐付需要が引き続き堅調な動きとなっている。ただし、建機メーカーは部品調達の遅れ等により生産計画を下方修正するケースが見受けられる。また、半導体関連は一部調整局面に入っている状況となっている。店売の荷動きは紐付需要に比べ盛り上がらない状況が続いている。市中在庫は減少傾向が続いており、タイト感が増している。市況については6月から店売の追加値上げを実施している。
- ② 先月より数量は増加しているが、実感としては変わらず低調な状態で推移している。
- ③ 構造用鋼、工具鋼ともに横這い。先行きの見通し情報にも大きな変化なし。

磨棒鋼

- ① 自動車、建機、産機の紐付品の出荷は好調を維持。小口の店売販売については値上がりがほぼ浸透したが、自動車向けの紐付品については集購材価格との調整もあり、価格転嫁は7月以降までずれ込む模様。

その他

<スクラップ>

- ① 荷動き、価格も大きな動きの無い1ヵ月だった。

<金属表面処理加工>

- ① 6月は物件物、紐付とも計画通り。スポットもまとまった数量の受注があり、高い操業となった。7月も引合いが活発なことから、大口物件が控えており安定した操業が出来そうである。地方への車両手配に苦戦しており、運賃も上昇中。